

(4) 部屋の中の安全

部屋の安全度を調べる

地震の揺れで、家具やテレビはどっちの方向に倒れるか？
どのガラスが割れて、どこに散らばるか？
避難路は確保できるか？

家具の位置を変える

または布団を敷く場所を変えることで、家具が倒れても下敷きにならないようにする。

家具や電気器具を固定する

タンスや食器棚は天井や壁に固定する。
テレビなども床面やテレビ台に滑り止めシートなどで、固定する。ピアノを転倒防止器具で固定する。

家具や棚の中身の飛出し対策

扉に金具を取り付ける。
本棚の前面には、ひもなどを取り付けて本などが落下しないようにする。

飛散防止フィルムを貼る

窓ガラスや戸棚のガラスに貼っておく。

- ★いつもは便利に使っている、いろいろな家具やテレビなどの電気製品、コップや皿などの食器、これらは大きな地震が起こったときに、飛散したり飛び出したりすれば、凶器になります。
固定されていない家具が、体の上に倒れ掛かってくるかもしれません。
テレビ、冷蔵庫、ピアノなどが飛んでくるかもしれません。
食器は割れて床に飛び散り、それを踏んでケガをするかもしれません。

- ★大きな地震が起こったとき、部屋の中はどうか、想像してみてください。それを基に、部屋の安全度を高めるための対策をします。

- ★家具のそばに布団を敷いていませんか？ 阪神大震災では、家具が原因でたくさんの方が亡くなったり、ケガをしたりしました。

- ★部屋の一つを家具置き場にして、全部の家具をそこに集める、部屋に余裕があるなら、これが一番確かな安全対策です。

- ★それができないなら、家具の下敷きにならないよう、家具の位置や布団を敷く場所を変えることが大切です。

- ★同時に家具を天井や壁に固定する、テレビなどの重たい電気器具も固定することが必要です。ピアノの転倒防止器具がピアノメーカーなどから販売されています。ピアノメーカーなどに相談して下さい。

- ★食器棚のコップや皿が飛び出さないように、扉には金具を取り付けます。本棚の本が飛び出さないように、本棚の前面にはひもなどを取り付けます。

- ★窓ガラスが割れると危険です。飛散防止フィルムを貼り付けて備えます。食器棚などのガラス扉にも同様に貼ります。

- ★ガラスが飛散したことを考えて、居間や寝室にスリッパを置いておきましょう。

防災器具は 33 ページを参照ください。